

品川区水とみどりの基本計画・行動計画 第3回改定検討委員会 書面開催について (20210307 島田)

番号	計画書 ページ	意見・質問等
1	1	みどりと水の内容について、計画書の内容と整合を図る、例えば海は計画書で取り扱っているか？下部の絵は中途半端な表現だが何を言いたいのか？。コミュニティガーデンとは何か？
2	3	下部の空白部分に、コラムや写真など何か表現できないか？
3	4	(1)①の※関連する～のp文章は、上段2行の本文以降に、なお～文章化して記載す
4	5	近年の台風の大型化 を加筆した方が良い。
5	4～20	記載の事柄が、方針や施策に展開されているか、再確認が必要、10や14頁の図中の字は読めない。
6	21	多彩な魅力とは何か？図に方位、スケールを。
7	22～38	自然的、社会的条件の現況が記載されているが、それぞれの現況に対して本計画ではどのように取り扱うのか等本計画との関係性を記載する。図は字が小さくて読めない。
8	26	土地自然特性の図は意味不明、差し替え前の図の方が良い。
9	28	現在人口が記載されていない。面積の記載も無い。
10	35	下寺、古墳等歴史的文化的資産があるはず、既計画書の方が良い。
11	40	下の図、海面を色付けした方が良い。方位、スケールを。
12	42	イ)運河の水質では。
13	43	図は読めない。既計画書の図の方が良い。現状に対して、7と同様に、だからどうしたいのかを記述する必要がある。
14	47	護岸フーチン とは区民には分からない。他も沢山ある。用語解説があると思うが。
15	48～49	何年にどのような調査を行ったかの経緯が不明。指標種等の手続きの詳細も不明。記載の樹木が生育していると多様性が保全されているという意味か？水域にヨシが生えていると良いのか？ 現状に対して、7と同様に、だからどうしたいのか？どのようにすべきかを記述する必要がある。
16	50	何年にどのような調査を行ったかの経緯が不明。金魚鉢横とは余りにもローカルな表現。現状に対して、7と同様に、だからどうしたいのか？どのようにすべきか？
17	51	文章、図ともに意味が分かりにくい。もっと分かりやすい表現に。公園面積は文章、表とも次頁に記載の公園面積と異なるが？
18	52	文章、図ともに意味が分かりにくい。もっと分かりやすい表現に。3.45m ² /人は23区で何番目かを記載。「である」は「です」に。
19	53	凡例を細かくしより充実した図に、方位スケールを。
20	54	現状に対して、7と同様に、だからどうしたいのか？どのようにすべきかを記述する必要がある。方位スケールを。
21	55	図の凡例が読めない。現状に対して、7と同様に、だからどうしたいのか？どのようにすべきか？方位スケールを統一（以降も方位スケールが欠落した図があったり、様々な方位、スケールが出てくるが、統一記載をすること）
22	58～59	前回とは？、何故この部分だけポイントなのか？、現状に対して、7と同様に、だからどうしたいのか？どのようにすべきかを記述する必要がある。下の図は読めない。
23	60	みどり率とはの説明が必要。既計画書の方が良い。区面積が56ページの数値と異なる
24	61	「～今後の対応が求められています」「～周知等が求められています」など、この頁の文末は良いが、100頁以降の事業に反映されていない。
25	64～65	突然一般論であるが、品川区でどうかという記載に。
26	68～70	64ページに記載のような環境保全本来の内容(図や文章)があり、加えてここに記載の生物関係の内容になるのでは。また、詳細な内容や68～70などは48～49ページの方が良いのでは。全体方針図や71頁は良いと思うが。
27	73	小さな緑の点は都市公園か？とても見にくい。
28	75	更新中、前計画の図であろうが、これだけ歴史文化関係の要素があるのに35ページの内容？67～75の図は読めるような表現に。
29	76	現状に対して、7と同様に、だからどうしたいのか？どのようにすべきかを記述する必要がある。
30	88～89	それぞれの関係性(マスからマスへ移る際の▽印の意味)が理解できない。例えば、如何なるフィルターをかけているのか？どのような基準を設けたのか 等。
31	91	将来のイメージに記載の「区内の1/4がみどりで覆われています」の「みどり」の意味は？またみどり率25%との関係は？、目黒川での友禅流し等々唐突に出てきたが、この根拠は？もしそれを実現するには、どのようにすべきかを記述する必要がある。

32	91~92	全般にわたるが、ネットワーク、繋ぐとは具体的に何を指しているのか？ 重要なところであるのでイメージでは無く具体的に。なお、一般的に河川等の他、公園緑地のネットワーク化に寄与する街路樹分布、サイクリングコース・緑道・遊歩道など資源施設は調べていないのか？
33	93	風の道の表現は分かりにくい。
34	96	根拠を整理とあるが明快な説明を。また「みどりのきれいさ」とはどのような意味か？委員から質に関する意見が多いが対応は可能か？
35	93、97	風の道、みどりの保全エリアの形成方針は？
36	100	基本方針2の展開図に「水質の改善」が無いが？ここで言うオープンスペースとは何を指しているのか(前後の頁での使用を含めて)
37	102~106	第7章の本文を記載、黒字、青字、赤字の違いは何か？各事業の説明(写真付き等で分かりやすく)、所管課の記載、現在実施している事業の継続なのか、新規の事業なのかの記載が必要。全部実施できるのなら良いが、某かの基準を決めて重点事業を選定したらどうか、その際には施策・事業を実現するための方法の検討が必要、また既計画のように主な事業の詳細説明やスケジュールが無いと行動計画とは言い難い。さらに、区民ファーストで本計画に係わる各種調査、自己点検結果等々について透明性を持たせた公表化を図る施策が必要。また公園等利用者への感染症対策、例えばafter、withコロナ対策(安全・安心の確保を前提としつつストレス解消や運動不足解消などのための公園利用対策、マルシェ、キッチンカー、ワーケーション、イベント開催等々)、台風等による倒壊被害を回避、あるいは更新するための大木・街路樹・公園樹木などの健康度把握、wifi設備の設置、サードプレイスとしての役割、リスクマネージメントの検討等々現在求められている重要な施策や事業の抽出や展開が必要。(フィードバックし前後の関係性追記を含めて) なお、そもそも持続型社会や地域循環共生のために①資源循環社会、②自然共生社会、③低炭素・脱炭素社会が一体となった環境都市の実現が求められているが、①についてはあまり触れられていない。例えば、公園等から発生する植物性廃棄物や大井競馬場の馬糞処理などはどうなっており、どのように対応する
38	100,102	「都市における生物多様性保全への配慮」ではないか。また生物多様性保全に向けた緑化の推進、水質の改善、外来種対策などの施策や事業が必要。
40	101	矢印の欠落
41	104	保存樹木・保存樹林の～ ではないか？
全体		上記以外にも、大小様々な修正必要箇所について見落とししている箇所もあると思いますので、十分な見直しをして下さい。その際、特に各章・各項に係わる流れや関係性の充実と説明、計画論としての論理的展開、水とみどりのネットワーク・品川らしさの創出、そのための量と質の目標、それらを裏付ける理解可能な文章・図表表現、そして方針や事業の展開等をも通した明快なストーリー性の確保、方位スケールの欠落や不統一、判読できない図表、考察の無いあるいは難解な文章表現、用語の不統一や不明瞭な使用等の改善による体裁の充実、区民目線での理解しやすい計画書への改善

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

筑波大学 村上 暁信

お送りした品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）をご確認いただき、ご意見、ご質問等ありましたら記入をお願いします。

記入方法ですが、下記の記入例を参考いただき、計画書の該当ページを「計画書ページ」欄に、ご意見・ご質問等を「意見・質問等」欄にご記入をお願いします。

計画書 ページ	意見・質問等
P. ●	・水とみどりの構造については、区民に分かりやすいように表現の工夫が必要である。
P. 8	<p>「オープンスペース」について・・・</p> <p>骨太の方針2020において「新たな日常」の実現が掲げられており、今後は官民が連携してゆとりとにぎわいある都市空間の創出、地域の稼ぐ力の向上に取り組むまちづくりが求められているという方向性の提示が弱いと思います。現在は、オープンスペースの活用、公民連携が「緑の計画で求められている」のではなく、それがまちづくりの中心になっているという主張をして戴くといいと思います。本計画はもちろん緑の基本計画なのですが、水と緑の保全を示すことに留まっているのが問題だと思えます。緑の活用を通じてまちづくりをするためにどうすべきかを述べる計画に変わる必要があると思えます。水と緑の保全に議論を留めようとするから、官民連携や柔軟な公共空間の利活用、区民の地域愛着醸成のための緑整備に話が展開しないのだと思えます。</p>
P. 45	<p>舟運や水辺景観の記述が計画の中で展開していません。アンケート結果（品川らしい景観、好きな景観）を紹介して、区民が品川らしいと思っている空間がまさにここで記載されている水辺景観であると言えるなら、その景色が区民により一層親しまれるように水辺空間の利用を促進する必要があるし、そのためには周辺の小規模な公共空地や街路を積極的に活用していく必要があるし、さらにそのためには官民連携を進めて地元のNPOなどと連携していく必要があることを提示してはいかがでしょうか。また景色をより一層親しみを持ってもらうためには、舟運をイベント的にでも活用していくことなどが、品川の水と緑の向上には必要だと思います。そういうことも書いてはいかがでしょうか。報告書全体の印象でもありますが、前半では一般的な緑の基本計画で書かれているという理由だけから現況が記述されていて、それが後半に繋がっていないように思います。～～エリア等の項目を記して、一般的な記述がされているだけで計画に展開していないように思います。</p>

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

お送りした品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）をご確認いただき、ご意見、ご質問等ありましたら記入をお願いします。

記入方法ですが、下記の記入例を参考いただき、計画書の該当ページを「計画書ページ」欄に、ご意見・ご質問等を「意見・質問等」欄にご記入をお願いします。

計画書 ページ	意見・質問等
P. ●	・水とみどりの構造については、区民に分かりやすいように表現の工夫が必要である。
P. 49	イ) 調査地点について・・・ 今回ということでは決して無いのですが、調査地点が少ないので 今後は増やしていく必要があると思います。生物多様性保全是重要な ので地域戦略を定めるなど深めたほうが良いと思います。 (これも今回の計画ではなく、という意味です。)
P. 54	ウ) 公園・児童遊園を有さない町会について・・・ これについては、展開させることが難しいという回答だったと 思いますが、この問題に対して今後どう対応していくのかを もっと理念を示して書く必要があると思います。都市公園の整備 促進は難しいので、他の形で利用できるオープンスペースを 増やしていくというのが必要だと思います。
P. 55	ア) 緑被率の状況について・・・ この話は、増えたところ、減ったところの表示（図）は加えられて よかったと思うのですが、どこでどうして増えて、どこでどうして 減ったか、を地区ごと（ウ）に詳細に書くべきだと思います。 その際に、前回計画が活きたのか、活きなかったのか、前回計画で は扱えなかったのかなどを書かないと、次の計画を実行力あるもの にできないと思います。そういう分析が必要なのに、ただ情報とし て図が提示されているだけなので後ろに展開してっていないと思 います。ぜひ区域ごとにもっと詳細に見てみて戴き、そこからどう したら実行力ある計画をつくれるのかを記述して戴けますでしょうか。
P. 56	図：緑被地の経年変化について・・・ H26からR1にかけて大幅に増えているのは計算方法が変わったから ですか？その説明はどこかにありますでしょうか。その説明を踏ま えて、この図はどう解釈できるのか、もう少し説明を補足して戴け ますでしょうか。

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

お送りした品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）をご確認いただき、ご意見、ご質問等ありましたら記入をお願いします。

記入方法ですが、下記の記入例を参考いただき、計画書の該当ページを「計画書ページ」欄に、ご意見・ご質問等を「意見・質問等」欄にご記入をお願いします。

計画書 ページ	意見・質問等
P. ●	・水とみどりの構造については、区民に分かりやすいように表現の工夫が必要である。
P. 59	図：町丁目別緑被地の経年変化について・・・ この分布の解釈はどこに書かれていませんでしょうか。
	図：変化のあった緑被地の分布図（平成26年→令和元年） これだけだとどう解釈していいのかわかりません。 地区ごとに細かく見て戴ければと思います。
P. 61	表：保存樹木・保存樹林の指定状況について・・・ 今後の対応の中身についてはどこに記載されていますでしょうか。
P. 84	(12)暮らしの中で実施している、または実施したいと考えている活動について・・・ アンケートは結果を記述しているだけで、この結果からどういうことが言えるのかということが書かれていません。それが一番重要なのでぜひ加筆をお願いします。その考察を踏まえて、計画論が展開される必要があります。
P. 86	(2)水とみどりが身近にある暮らしをつくるの2点目について・・・ この考察がどのように展開していますでしょうか。 どのような育成支援の提示に繋がっていますでしょうか。 その関係性がもっと見えやすくする必要があります。

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

お送りした品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）をご確認いただき、ご意見、ご質問等ありましたら記入をお願いします。

記入方法ですが、下記の記入例を参考いただき、計画書の該当ページを「計画書ページ」欄に、ご意見・ご質問等を「意見・質問等」欄にご記入をお願いします。

計画書 ページ	意見・質問等
P. ●	・水とみどりの構造については、区民に分かりやすいように表現の工夫が必要である。
P. 88	「5. 水とみどりの課題」の区民意識調査のまとめで・・・区民が不満を感じている部分の記述ばかりで、どうしたら区民が誇りにしている景観、緑、水を作れるかという議論がありません。そのためマイナスを減らそうというだけの計画になっているように読めます。
P. 91	将来像のイメージについて・・・なぜ25%が大きく提示されるのでしょうか。前段との繋がりがよくわかりませんでした。数値目標を掲げるのは必要な部分もありますが、これが最初に来て、もっと身近な小さい緑やオープンスペースの話が出てこないのはよくないと思います。

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

埼玉大学 高木 宗房

計画書 ページ	意見・質問等
P.26	図に品川区の範囲を強調表示した方が理解しやすい
p.40	明治40年の水路図及び現在の水路図において、①現状の品川区の範囲（表現している範囲で）②目黒川、立会川の表記、③区役所の位置を入れた方が理解しやすい
P.67	図中において①避難道路、徒歩帰宅支援対象道路が良くわからない、②防災拠点（区役所、出張所等）を明記した方が良いと思います
P.73	図中凡例 水とみどりの活動場所が2つあり、点線と実線があります。点線は計画等かと思いますが表記を正確に書いた方が良いかと思っています。
P.92	図に表現したい内容が多く分かりにくい。水とみどりの拠点が重なっているところは、最重要拠点として違う色にするなど検討する事は可能か？
P.102	表中の文字「(3)グリーンインフラの活用」→「(3)グリーンインフラの推進」(P.100) 文字の統一が必要
P.103	表中の文字「(2)水質の改善」が (P.100) には無い 文字の統一が必要
P.104	表中の文字「②水辺を生かしたまちづくり」→「②水辺を活かしたまちづくり」(P.101) 文字の統一が必要
P.106	表中の文字「(2)水とみどりを守り育てる担い手の育成」→「(2)水とみどりを守り育てる人の育成」(P.101) 文字の統一が必要

品川区水とみどりの基本計画・行動計画 第3回改定検討委員会

(書面開催)

(ご対応した委員)

大崎駅周辺まち運営協議会 網嶋 信一様

(内容)

第3回改定検討委員会の議事資料について意見聴取

(議事録)

①再開発で整備した広場の緑地や屋上緑化の手入れが行き届いていない。今回の基本計画や行動計画に指導するような条項を入れることができないか。再開発の中で、デベロッパーとの交流・連携を図ることができないか。屋上緑化調査の再運用ができないか。

②「おおさき今昔物語」でも取り上げられている妙華園があったこと。ワシントンの桜、シクラメンの栽培をしていた。日本の近代公園のさきがけとなったため、妙華園の復活はできないか。また、エリアやストリートに統一した樹木の選定。

③ボランティアの受け皿。行政側が発信すると町会→婦人会など上からの命令みたいになる。緑を大切にする人々からこういうことをやりたい。←行政がサポートのように区民から押し上げていく体制づくりが必要。また、個人宅で緑や花を大切に育てている人々のネットワークを大事にするべきではないか。

第3回 改訂委員会 意見書

2021. 3. 10 永尾

ページ	意見・質問等・要望
4P	<p><u>②緑とオープンスペースの柔軟活用</u></p> <p>当 NPO 法人が委託管理している 花海道、入江広場公園にお休み処、軽食コーナー、自動販売機等の設置を希望している。</p>
4P	<p><u>③緑を減らさないための取り組み</u></p> <p>NPO 法人で、花苗作りを実施して安価での配付を目指す。</p>
5P	<p><u>⑤首都直下地震・防災まちづくり</u></p> <p>水害対策の土のうの確保、補充。ゴムボートを町会に一つは欲しい。(低海拔地区)</p>
5P	<p><u>⑥脱炭素社会推進。</u></p> <p>ゴーヤカーテンの推奨。ゴーヤ苗作りを実施する。現在準備中。</p>
6P	<p><u>⑧生物多様性保全への配慮</u></p> <p>花海道周辺と水辺の生物、生息状況調査と告知保護活動の実施 珍種の蝶（ジャコウアゲハ）の保護は実施中。昨年勝島運河で初のカモの親子発見。 例・産卵確認、シャコの生息、10種以上の蝶を確認、多くの昆虫など。</p>
6P	<p><u>⑨新型コロナへの対応</u></p> <p>屋内での蜜を避けるべく、屋外の広いスペースの活用 例・屋外ステージでの文化芸能サークル活動の推奨。</p>
6P	<p><u>⑩水辺の活用</u></p> <p>勝島運河の水辺活用 例・栈橋の建造、バリアフリー、ウッドデッキ、舟運業者との連携</p>
17P	<p><u>②品川区街づくりマスタープラン</u></p> <p>質問：「品川らしさ」とは</p>
38P	<p><u>③大井地区</u></p> <p>しながわ花海道 設立年 2002年 概要 勝島運河の防潮堤に地域活性化を目標としてお花畑づくりを 立会川・鮫洲商店街が中心となって始めた緑化プロジェクトです。 現在は大井第一地区町会連合会が NPO 法人としてしながわ花海道と 周辺の公園の管理運営を品川区の委託を受けて活動中。</p>

*公園の防犯、美化対策

生垣による死角をなくす。生垣内のゴミ問題。

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

勝島・浜川・鮫洲地区運河ルネッサンス協議会 嶋村 泰輝

お送りした品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）をご確認いただき、ご意見、ご質問等ありましたら記入をお願いします。

記入方法ですが、下記の記入例を参考いただき、計画書の該当ページを「計画書ページ」欄に、ご意見・ご質問等を「意見・質問等」欄にご記入をお願いします。

計画書 ページ	意見・質問等
P. ●	・水とみどりの構造については、区民に分かりやすいように表現の工夫が必要である。
P15	文字 印あり
P-5-15	状況がわかりにくい長文か？ P1=20ページか？ その中に 17P-20P が薄い気がする。
P36	勝島地区水とみどりの基本計画ルネッサンス協議会素案 を勝
P31	旧専断区の一帯に於ける計画の進捗状況の 記述がどのくらいか？
P40	ガレキ処理(14P)があるが 図面では？ (記述がどのくらいか？)
P92	246246として構造が1-6の4が1か？ どう見てもよくあるか？ 図面はどのくらいか？

勝島運河協議会

品川区水とみどりの基本計画・行動計画 第3回改定検討委員会

(書面開催)

(ご対応した委員)

勝島・浜川・鮫洲地区運河ルネッサンス協議会 嶋村 康輝様

※電話にてご意見を聴取

(内容)

第3回改定検討委員会の議事資料において、3/3(水)着で意見書の回答受取をしましたが、改めて補足説明が必要かどうか確認をしました。

(議事録)

・前半部分で社会情勢、国や都の動向、品川区の現況や課題がかなり述べられているが、後半部分で述べている、それに対する品川区の考え方や目標などについて内容が全体的に少ないような感じがする。品川区として課題をどのように解決していくのか、そのためにどのような施策や事業などを進めていくのか、何をすれば目標を達成することができるのかを具体的に示すべき。

(例)

みどり分野については、みどり率を10年後には22.6%に上げるという目標設定がなされているが、どのような施策をやって目標達成に近づけるのかがみえていない。

水辺分野については、親しめる水辺が多いと感じる区民の割合を上げるという目標設定に対して、具体的にどの地区の水辺空間や拠点などを親しめる水辺空間として活用していくのかを示すべき。

・前半部分は特にボリュームが多くて説明文が長いため、もう少し簡略化してまとめることはできないのか。可能であればもう少し文章の量を絞って読みやすい工夫をするとよい。

品川浦・天王洲地区運河ルネッサンス協議会 伊東 堅
前田 俊寛
品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回改定委員会意見書案

- P7 「プラットフォーム」とは何か。具体的例が必要と思う。
- P9 「陸間」ふりがなが必要ではないか。
- P10 図 都市づくり戦略イメージ の文字が小さく読めない。大きくできないか。
- P18~20 この結果、何ができているのか。
- P26 崖線の説明上、重要な図と思われます。崖線の位置を明示する、文字を大きくするなどのことが必要
- P31 記載文章と地図上の位置を連携させてはどうでしょう。各地区の名称の文字を大きく。
- P32 「13 東品川」は P33 上部と一体にする。
- P36 天王洲総合開発協議会の概要欄
「現在も街の景観維持、イベントなど地域の活性化に取り組んでいます」
品川浦・天王洲地区運河ルネッサンス協議会の概要欄
「運河の活用方法、安全航行啓蒙の横断幕設置および運河のパトロール、周辺の景観づくりをはじめ、
運河を利用したイベント、施設の設置などを協議しています」
- P44 8~9行目 「一般開放」と言ってよいのか。
- P50 崖線の位置を記載したら（湧水と関係があれば）
- P67 広域避難場所が分かりにくい。線の太さ、点線の間隔を広くするなどの工夫が必要
地図を大きくできないか。
大井ふ頭中央公園などを番号等で分かりやすくしては
- P69 地図を分かりやすくしたら（P67 のようなもの）
- P75 地図が分かりにくい。大きくできないか。また、凡例の色、太さを工夫できないか。
「出典」以下は小さくて良いのでは
- P78 天王洲「R4～」は何でしょう
- P81 (5) 品川区が2つある。誤字では
- P86 視点の一つに「崖線の保全」が必要では
- P87 (4) 健康的なライフスタイル「をさせる」みどりや水辺
「に必要な」あるいは「支える」では
- P88 2行目 「とみどり課題」→「とみどりの課題」
- P89 今回計画に求められる視点
① 崖線の保全を加えるべきでは P93、P104 で大きく扱っているのに、その前の記載が少ない
② 大規模施設の配置換え、連携が必要では
八潮の水辺を観光施設化できないか。陸上、海上のアクセスの整備も必要。

P91 将来像のイメージ

① 質の向上が見えない。(過去の量的イメージ)

② 目黒川も大事だが、水辺や木陰で憩う区民の姿が大事なのではないか

(目黒川の川幅を広げ、船の航行を促進する護岸に改造することにより、いろいろなことができるようになる)

P94 水遊びでの安全確保はどう考えているのか

P95 基本方針6として「品川区施設の再配置」を記載してはどうか。

P97 (2) エリア別に考える必要がある。安全とのバランスを考えてほしい。

P98 ①公園整備の質向上

(2) 安全安心の街づくり 夜間照明、監視カメラの拡充

3. 緑化重点地区 規制はどうするのか

P102 (1) 都や船舶事業者との連携はどうするのか、「災害時の水運の活用」の内容、準備をどう考えているのか。

P103 (1) ③一般開放をするのか

P104 (3) ①公園の再配置

P105 (1) 水上利用時のルールは

船のバリアフリーとの兼ね合いをどうするのか

P106 助成制度に関する情報発信

「なぜ利用されないのか」の検証と助成金額・制度の再検討が必要では

P107 P98の区全域を「緑化重点地区」とした場合、地区別では品川区100年の計を考えた明確な方針を打ち出すべきではないか。

凡例 P・・・・・・ 質問あるいは提案事項

塗りつぶしなし 文章の変更提案内容

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

お送りした品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）をご確認いただき、ご意見、ご質問等ありましたら記入をお願いします。

記入方法ですが、下記の記入例を参考いただき、計画書の該当ページを「計画書ページ」欄に、ご意見・ご質問等を「意見・質問等」欄にご記入をお願いします。

計画書 ページ	意見・質問等
P. ●	・水とみどりの構造については、区民に分かりやすいように表現の工夫が必要である。
	特に意見等はございません。
	特定非営利活動法人目黒川五反田協議会 眞崎 忠義

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

お送りした品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）をご確認いただき、ご意見、ご質問等ありましたら記入をお願いします。

記入方法ですが、下記の記入例を参考いただき、計画書の該当ページを「計画書ページ」欄に、ご意見・ご質問等を「意見・質問等」欄にご記入をお願いします。

計画書 ページ	意見・質問等
P. ●	・水とみどりの構造については、区民に分かりやすいように表現の工夫が必要である。
	送付資料は、ご一見を痛しましにが多忙のためこれだけの
	資料と短期間でゆっくり再読まとめている時間があり
	ません。
	申し訳ありませんが、意見・質問等は今回は見合わせ
	ということをご理解下さい。 岡 昭一

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改訂検討委員会 意見書

	全般として、素案ということだが、引き続き「検討・追加」される内容が多く、検討委員会で検討したことにならないのではないのでしょうか
	第1章5から第2章もボリュームが70ページもあり、区民にとって理解しづらいのではないのでしょうか
P1	”「緑の基本計画」とは、・・・を必ず定めることになっている。”と表現されていますが、主語と述語との関係があってないと思われます
P1	図の中の「公園」が示しているものが分かりません。「樹林」と「街路樹」、「住宅地の緑」と「コミュニティガーデン」の違いが区民に伝わらないと思われます
P1	「多様な担い手」と簡単に記載するのではなく、“区民の皆さんとともに力を合わせて実現するんだ”という力強いメッセージを込めたほうが良いのではないのでしょうか
P3	5年毎の進捗の確認というスパンでは、「PDCAサイクルにより」と表現されているにもかかわらず、寂しくありませんか
P4	「※関連する国、都、区の動向（P.7以降に記載）」という注釈の意味が区民に伝わりにくいと思われます
P7-20	P7~20の記載内容が、P4~6までに要約されているのであれば、区民にとって必要性が薄く、区民にわかり易くするためにも資料編への記載でも良いのではないのでしょうか
P21~75	現況の記載であることから必要だと思われるが、50ページを超える量は区民にとって多すぎるように思われます。要約と資料編とに区分したほうが区民が理解しやすいのではないのでしょうか
P54	「以下に示す30町会あります」とありますが、図からは判断できません
P55	「不燃化推進特定整備地区」の用語が区民には伝わらないと思われます
P57 7行目	「一方、・・・低くなっています」とありますが、目黒川が記載されていなくても区民に理解されるのでしょうか
P59	「図 変化のあった緑被地の分布図」は、小さくて区民にとって見にくいと思われます
P65	【景観・歴史文化】の図が歴史文化を表現しておらず、文章と結びつきません。歴史的建造物と緑の関係を分かりやすく示す図の他事例はないのでしょうか
P66	「みどり豊かな街並み形成の観点から生垣造成費用の一部を助成」と記載されていますが、安全面での観点からも生垣助成の推進が求められているのではないのでしょうか
P66	「荏原地区では接道部緑化の可能性が最も低くなっている」の表現は、地区別の記載箇所で良いのではないのでしょうか（根拠が示されていませんが）
P67	徒歩帰宅支援対象道路の表記が分かりにくいと思われます。また、密集住宅市街地整備促進事業や都市防災不燃化促進事業の言葉は、区民にとってなじみのある言葉とは思えません。注釈が必要ではないのでしょうか

P67	「防災船着場」という言葉がP66に記載されているので船着場との区別が欲しいと思われます
P68	大きな公園を比較すると → 大きな公園と比較するに修正をしたほうが良いと思われます
P68	「・運河も大部分が・・・」と「・河川や運河は、・・・」の2項目は、内容が重複していると思われます
P69-70	図は情報量が少なく、課題に対しどのようにつながるか分からないことから、資料編に入れても良いと思われます
P72	「123団体の登録団体があり（平成23年4月現在）とありますが、データが古すぎると考えられます
P73	図の▲の凡例がなく意味が分からないと思われます
P76	みどり率の平成16年度は不要ではないでしょうか
P76 7行目	「公園等の樹木被覆地の減少は、公園の再整備によるものであり」と記載されていますが、みどり率では公園の敷地面積を対象としているため不要ではないでしょうか。
P76	「目標未達成の考察を追加」とありますが、どのようなことが追加されるのでしょうか
p78-78	課題は、背策の実施により達成できなかった原因を示すのではないのでしょうか
p88-89	視点4と課題4だけが対応していないように受け取れます
P91	将来像と全体目標との関係が分からないと思われます。特に将来像のイメージとして示されているみどり率の数値と全体目標の数値が異なっているので区民は丁寧に説明しないと混乱すると思われます
p93	<みどりの保全エリア>の凡例が、P92図と異なっている
P94	5つの視点と基本方針とは、表現が違いますが同じことを目指しているのでしょうか。また、5つの課題とも表現は異なりますし、内容が異なる事項（例えば、課題2と課題4が違います）があり、区民にとって分かりにくいと思われます。
P96	基本方針と全体目標との関係が分かりにくいと思われます。基本方針は全体目標を達成するためのものなのでしょうか
P97	文章検討中とのことですが、施策の方針は、全体目標を達成するために定めるものではないのでしょうか。全体目標を実現するために行うべき施策として、組み立てられているのでしょうか
P100-106	第6章と第7章について、区民にとって重複感が強く、同じことを表しているように受け取られると思われます。
P100	将来像を実現するための施策の体系をされていますが、将来像と基本方針との関係が分かりずらく、示された施策を実施することにより、将来像のイメージとして示されているみどり率の達成に結びつくことが分からないと思われます

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

お送りした品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）をご確認いただき、ご意見、ご質問等ありましたら記入をお願いします。

記入方法ですが、下記の記入例を参考いただき、計画書の該当ページを「計画書ページ」欄に、ご意見・ご質問等を「意見・質問等」欄にご記入をお願いします。

計画書ページ	意見・質問等
P. ●	・水とみどりの構造については、区民に分かりやすいように表現の工夫が必要である。
前回 議事録	重要なポイントが整理できたと感じる。 ・品川らしさ、みどりの減・増の分析、みどりの質、エリアマネージメント、屋上緑化の功罪、水際利用の再評価、運河の利用(橋側にも)、春から夏にかけて、季節多様性
P.1 基本 事項	なぜ「水とみどり」なのか、改めて明確にするべきと思われる。 みどりは水の必要である。水はみどりに通じて通養される。このように 川が流れてくると様々な生物が生息する。この生き物は人間も含め、人間の生活環境の必須条件である。このように 都市化がすすむにつれて「水とみどり」や自然環境も +人工環境が増加して水とみどりに対する。
P.8 2017 要綱	まちづくりの取組は、今までの取組が継続していき、量と質を 維持する。再建計画の中で取組を強化していき、当然と認めていく。

水とみどりは人間の生命に必要である

取組が近づくこと、通勤時間が減ることで自由な時間と遊ぶ場が必要になること、生活の考え方が根本的に変わっていくと考える。
近藤 一 郎

2021年3月8日

品川区水とみどり 意見書 (試)

- ・人口の減少を考えに入れる～その変化の速さ～短期間で可能な小さな事象を積み重ねる
～商店街の空き店舗跡や木密の空住宅のような小さなスペースをオープンスペースに変換させる
(3.11の東北復興のように10年かかるようでは手遅れになる、例：陸前高田)
- ・町は住宅で構成される、町は人が集まって住むところ、それが基本である。従って気持ちよく住める空間をつくる。
- ・コロナによる住居と仕事場の近接化(テレワーク)、～通勤がない～住む地域との関わりが深くなる～効率を追求したオフィスや商業空間が町の主役では無くなってくる。
- ・外で過ごせる気持ちのいい空間の必要(ちょっと近所で立ち話、巨大商業施設ではない)それがオープンスペースに求められるもの。
- ・品川区は特に線的な小規模の商店街が連続するリニアな商店街の存在(親密性、ゆっくりと歩ける)。この商店街のリニアは方向を、緑地・緑道・水辺・オープンスペースにつなげる。
～にぎわいと日常生活と 安らぎと水とみどり環境への相互連続性をつくる
(水とみどりだけでのネットワークは構成に辛い部分がある、緑道で過ごした後日常の買い物をする生活感)
- ・東京の公園等のスペースは寺社地・旧大名屋敷、品川では下屋敷が大半：庭園をきそって造った、それが公園となっているが、その原点を評価して公園を広げる工夫をする
- ・木造密集地域の考え方
防災面ではマイナスであるが、安全・安心が住宅の第一条件ではない。木密は地域につながって落ち着いて住める地域である。羽田の木密で、祭りに子供や孫が帰って来て、家の前の路地で過ごす。車が入ってこない路地が家の狭さを補っている。オープンスペースとして機能する。
低層で高密化の中で住むことは、日常生活では快適
- ・東京は木造が多い、従って建物からその場所の歴史を辿るのが難しいが、地形の変化からそれを類推できる。品川はその地形変化は明快、台地・沖積地・崖線・谷・川辺・海辺、目黒川兩岸の崖線により、崖線の距離が長い。東京湾に面し、水族館があり、なぎさのある区は少ない
- ・品川湊は、中世から栄えた。江戸より歴史が古い？湊は水・燃料・食料を供給でき、物資と文化の集散地。そこから品川宿場町はそれ以前から栄え、寺が多い。
- ・防災的には、多種・多様なスペース、交通・運輸方法・手段があると、どれかが使える。高齢化にも対応できる。防災面から、木密を否定すべきではない、そこに不足するスペース(小さくて可)を追加する。

近藤一郎

品川区水とみどりの基本計画・行動計画 第3回改定検討委員会

防災まちづくり部長 藤田 修一

・みどり率の目標設定の根拠はどうか？

→計画期間では 22.6% (P.96) で現行計画のものを継続する形に、将来的には 25.0%(区内の4分の1をみどりに)(P.91)とこちらも変更はしないとあるが、元々は東京都全体におけるみどり率の目標値は 33%とされているため、その内容から述べた上で品川区におけるみどり率の目標について記述の方が望ましい。

※P.98 「2.都市公園の整備および管理の方針」で、一人当たりの公園面積について触れているが、これがみどり率の向上にどうつながるのかは述べられていないため、どのように記述するのかを考える必要がある。

・ P.96 「計画の目標設定」で、「①きれいさ」、「②量」、「③活動・活用」といった3つの視点を挙げているが、水辺に関する数値目標については、「①水のきれいさや水辺空間の区民満足度」(質)と「②親しめる水辺が多いと感じる区民の割合」(量)の違いがあまりないように見受けられるため、もう少し区別した方がよい。

みどりに関する数値目標の中で、「③NPO やエリアマネジメント等の地域団体が維持管理する公園の数」については、単に維持管理するだけでなく区民の方にその公園を多く活用していただけるような仕組みにするとよいと、表現を変えた方がよい。

・ここ最近の社会情勢で SDGs がよくとりあげられているが、これに関してはどのように示すのか？

→P.100～101 「第6章 将来像を実現する施策の体系」の中で、施策ごとにどの項目が当てはまるのかわかるように表示することとする。また、SDGs の概要についてもコラム形式で掲載することを想定している。

・ P.92～93 「(2)目指すべき水とみどりの構造」の中に、新たに「風の道」を追加しているが、これについて品川区は大崎エリアにおいて考慮されている。特に大崎駅周辺再開発事業関連で建設された高層ビル群は、「風の道」を利用した構造でなされているため、それについて触れることもありではないかと考える。

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

都市計画課長 鈴木 和彦

お送りした品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）をご確認いただき、ご意見、ご質問等ありましたら記入をお願いします。

記入方法ですが、下記の記入例を参考いただき、計画書の該当ページを「計画書ページ」欄に、ご意見・ご質問等を「意見・質問等」欄にご記入をお願いします。

計画書 ページ	意見・質問等
P. ●	・水とみどりの構造については、区民に分かりやすいように表現の工夫が必要である。
P. 4～6	「区の動向①」や「国の動向①⑤」などが何を示しているのか分かりにくいいため、見せ方に工夫が必要である。
P. 76～89	「第3章 品川区に水とみどりの課題」のところであるが、冒頭から「1. 前計画の目標達成状況」で始まるのは違和感がある。
	「2. 前計画の実施状況」の中にある課題のまとまりが悪いため、しっかりまとめ直す必要がある。
	「3. 区民意識」は、第3章の中ではなく前半部分に入れる方がよい。例えば、品川区の現況をまとめているセクションに入れるなど。
	「4. 計画に求められる視点」は、この後でそのまま基本方針へとつながっているが、そのつながりが見えてこない。
	「5. 水とみどりの課題」では、これまでの内容のまとめになっているが、分量が多すぎるため、工夫が必要である。
	⇒第3章は全体的に見直す必要がある。
P. 92	「図 水とみどりの将来構造」の中で、目黒川より下にある崖線軸は本当に合っているのか確認が必要である。
	図の中で示している「風の道」がどれを指しているのか分かりにくい。「風の道」について品川区では大崎駅周辺エリアが関わっているため、どこかで内容を盛り込むとよいのでは。

<全体>

- ・ 文章中の取り組み、取組、取組みの記載を「取り組み」に統一
- ・ 文章中の品川区、本区の記載を品川区に統一
- ・ 図番号、表番号を記載（図◎-◎ 図の表題、表◎-◎ 表の表題）

P1

- ・ 図の“コミュニティガーデン”は文中に出てこない用語なのでは？

P2、P17

・ 計画の位置付けのフロー図の水とみどりの基本計画・行動計画の後ろには（改定）を入れたほうがよいのでは。

- ・ P2の位置付けとP17の品川区の動向をリンクさせる必要があるのでは？
- ・ 3. 計画の位置付け 「長期総合計画」を「長期基本計画」に修正

P4

- ・ SDGsについては、コラムで全体の詳しい内容を説明してほしい。

P11

- ・ 「図 区部の緑のネットワークイメージ」中の品川区の赤枠について、凡例に記載

P14

- ・ 先日東京都が発表した“東京ベイ eSG プロジェクト”を加えてほしい。

P23

- ・ 「図 品川区周辺の地形・水系」の品川区の範囲がわかりづらい。（黒枠部分）

P32

- ・ 大崎地区の風の道を記載してほしい。

P34

- ・ (6) 産業が水とみどりにどのように結びついているのかが分からない。

P36

- ・ 天王洲のキャナルフェスについて、触れてほしい。

P39

- ・ 立会川については、“暗渠化“→”下水道として暗渠化され“としてほしい。

P41

・ 白濁化や悪臭の発生は、潮の影響だけでなく、大雨時に合流式下水道から污水混じりの雨水が放流されることを加えてください。

P42

- ・ イ) 運河・河川の水質→運河・海域の水質

P46-47

・これまで実施してきた水辺に関する取り組みは、P39～P45の①～⑤に組み入れてほしい。

P49・69-70

・生物調査結果の違いは。整合性を確認。併せて、調査時期毎の結果を整理してほしい。

P50

・湧水調査では、簡易水質、湧水量についても実施と書いてあるが、結果に記載がない。

・上記に加え、調査地点の住所表示を記載。

P61

・「表 保存樹木、保存樹木指定状況」のR1記載漏れ。

P62

・水に関する施策となっているが、治水対策の助成内容だけとなっている。水に関する施策は、東京都の豪雨対策基本方針等の上位計画および品川区総合治水対策計画に基づき、下水道整備事業や流域対策等を行っているため、区における下水道整備事業内容を追記し、流域対策の一つでもある各種助成事業については、助成件数を記載するのではなく、計画目標に向かって各種助成を推進している内容を記載してほしい。（参考資料あり）

P66-67

・目黒川沿いの防災船着場は、3か所となります（五反田、五反田ふれあい水辺広場、東海橋）。また、海上輸送基地も7か所となります。（しながわ水族館、勝島、大井競馬場、大井ふ頭中央海浜公園、大井コンテナ、東品川2丁目、品川天王洲）

・P67の船着場は防災に関する船着場（上記の10か所）を記載してください。

・都市型水害については、河川や下水道整備が進められていることを述べてください。

・現況、課題と図をリンクさせること。図凡例に避難道路、徒歩帰支援対象道路、都市防災不燃化促進事業などの記載はあるが、前頁の現況、課題に図凡例の内容が記載されていない。

⇒現況、課題関連する図を記載すること

P68

・内容が生物多様性だけになっている。P64の環境保全では他の内容も記載があるのでその内容も整理すること。

P72-73

・五反田ふれあい水辺広場については、河川準則による民間活用（キッチンカーやイベント）にも触れてほしい。

・棧橋のマークが凡例と合っていない。凡例の都管理と民間管理の色が同じ。棧橋ではなく、船着場で統一してほしい。

P73

凡例に青丸の記載がない。星の青と青丸の色を区別すること。

P74

- ・ライトアップにも触れてほしい。P75にはライトアップしている箇所を記載してほしい。
(区が実施したものと都が実施したもの(天王洲水門))

P74-75

- ・P74の内容とP75の図をリンクさせること。

P78-79

- ・課題の⇒があるものとないものの違いは？

P80-84

- ・区民意識の考察に地区別の結果の文章はあるが、グラフからは読み取れない。
- ・(5)の地区別の結果について、品川地区が重複している。

P86

- ・(1)風の道の内容を記載すべき。
- ・(2)水質については、目黒川、立会川の水質だけでなく、運河の水質も加え、アンケート結果からも改善要望が最も高いことを述べてほしい。

P89

- ・今回計画に求められる視点の“河川の白濁化や悪臭への対策”→“河川、運河の水質への対策”のほうがよいのでは。

P96

- ・全体目標を①きれいさ、②量、③活動・活用に分けて記載してほしい。

P97

- ・P92の構造やP94-95の基本方針との関係がよくわからない。

P102-103

- ・事業は、もう少し集約化してほしい。

※委員意見対応表の作成にあたっては、赤字の内容のみの対応をお願いします。

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

公園課長 高梨 智之

お送りした品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）をご確認いただき、ご意見、ご質問等ありましたら記入をお願いします。

記入方法ですが、下記の記入例を参考いただき、計画書の該当ページを「計画書ページ」欄に、ご意見・ご質問等を「意見・質問等」欄にご記入をお願いします。

計画書 ページ	意見・質問等
P. ●	・水とみどりの構造については、区民に分かりやすいように表現の工夫が必要である。
P. 9-20	・国・都・区の動向については、ボリュームが多いため、必要な部分のみまとめ、詳細は資料編へ記載するなど前半部分が重くならないようにしたい。
P. 22-38	・全体的に情報量が多い。必要な情報をまとめるとともに資料編へまとめるなど、前半部分が重くならないような工夫がほしい。
P. 49-50	・調査地点の図が同じものが続く。まとめてほしい。
P. 54	・公園が町会内に必要である理由を先に述べてほしい。 ・町会数は最新の情報にしてほしい。
P. 55	・「不燃化推進特定整備地区」など区民にわかりにくい用語は用語集に整理するなどしてほしい。
P. 57-58	・文字が多く羅列されており見にくい。地区別に分け、状況を箇条書きにするなど工夫をしてほしい。
P. 64-65	・「水とみどりの主な機能」は、一般的な機能分析だけでなく、品川区（もしくは都心、都市部）においてどうか、という視点で整理する。 例えば、「木地域が多く分布する品川区において火災時の延焼遮断帯として役立ちます」など。
P. 66	・引用している数値については最新の数値に。
P. 76	・建て替えが進んでいるのは、「不燃化推進特定整備地区」のみのように見れる。建て替えが一定程度進んでいるのは事実であるが、もともと建て替えが進まないのが木密地域なので、この記載は不適。シンプルに「住宅地では」とすべき。

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第3回 改定検討委員会 意見書

公園課長 高梨 智之

お送りした品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）をご確認いただき、ご意見、ご質問等ありましたら記入をお願いします。

記入方法ですが、下記の記入例を参考いただき、計画書の該当ページを「計画書ページ」欄に、ご意見・ご質問等を「意見・質問等」欄にご記入をお願いします。

計画書 ページ	意見・質問等
P. ●	・水とみどりの構造については、区民に分かりやすいように表現の工夫が必要である。
P. 78	・課題と言うより「進めるべき施策」「さらに充実するために必要なこと」という内容ではないか。 ・すべてにおいて課題があるように見える。
P. 80-84	・紙面をとりすぎではないか。各項目の説明文は不要ではないか。 ・2ページくらいにまとめたい。
P. 86-87	・ここで「今回計画の視点」が唐突なので、88ページの内容から「今回計画の視点」が導き出されているという説明（88ページの内容）を入れるべきでは？
P. 88-89	・全ページの構成に倣い、ここでは視点から課題が導き出されているという説明（89ページ）を入れるべき。
P. 98	・「都市公園の整備及び管理の方針」では、文章の羅列ではなく区の整備方針の軸（①密集市街地における一時集合場所となる公園・防災広場の設置、②地域の防災活動等の拠点となるため、町会内に公園等が無い町会への公園整備）を示す。 ・管理方針については現在区が行っている公園管理についてもう少しボリュームを持たせる。
P. 99	・「品川らしい水とみどり」とは何か、というのを見やすく定義づける。